

事業番号0089												
平成29年度行政事業レビューシート（厚生労働省）												
事業名		独立行政法人国立病院機構運営費				担当部局庁		医政局		作成責任者		
事業開始年度		平成16年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室		医療経営支援課		課長：佐藤 美幸		
会計区分		一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第46条第1項				関係する計画、 通知等		-				
主要政策・施策		-				主要経費		社会保障				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		独立行政法人国立病院機構が行う業務（医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療に関する技術者の研修及びこれらの附帯業務）にかかる経費の一部（国の在職期間に係る退職手当相当額等）に充てることにより、同機構の業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）		独立行政法人国立病院機構の業務に係る経費のうち、国の在職期間を有する職員についての当該期間に係る退職手当等の過去債務に関する費用及び臨床研究、教育研修に関する費用等の一部に相当する額を運営費交付金として交付。 注1）平成24年度以降、診療事業に関する運営費交付金は交付していない。 注2）運営費交付金の大半が過去債務（国の在職期間に係る退職手当相当額等）に充てられている。										
実施方法		交付										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
		予算 の 状 況	当初予算	19,788	16,550	14,421	14,451					
			補正予算	-	-	-	-					
			前年度から繰越し	-	-	-	-					
			翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
			予備費等	-	-	-	-					
				計	19,788	16,550	14,421	14,451	0			
		執行額		19,788	16,550	14,421						
		執行率（％）		100%	100%	100%						
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		100%	100%	100%								
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）		歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由							
		独立行政法人国立病院機構運営費交付金	14,451									
		計	14,451	0								
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）		定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-		-		成果実績	-	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-	-
						達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 （出典）		-										
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績						
		国立病院機構は、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等を行うことにより、政策医療の向上を図り、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としており、これに対する定量的な目標を設定することは困難であるため。				医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の実施及び推進に関する目標について、26～28年度において適切に実施されている。						

定量的な成果目標の設定が困難な場合			事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
国立病院機構が行う医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療に関する技術者の研修及びこれらの附帯業務の適正な実施				国立病院機構が行う業務に関する独立行政法人通則法に基づく業務実績の評価 ※ 上記の指標は、中期計画に示した国立病院機構が行う業務について、適正に実施されているかを「S」～「D」の5段階で評価するものであるから、これを具体的な数値として目標値にすることは困難である。	実績	－	A	B	－	－	－	－		
					目標値	－	B以上	B以上	B以上	－	総合評価B以上			
					達成度	%	S:全体として中期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。 A:全体として中期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。 B:全体としておおむね中期計画における所期の目標を達成していると認められる。 C:全体として中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。 D:全体として中期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める。 ※個別項目の評価等を総合的に勘案した総合評価による評価				－	－		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)			活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込		
			国立病院機構で実施したNHOネットワーク等の研究課題実績数		活動実績	件	100	101	85	－	－			
					当初見込み	件	80	81	101	90	－			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)			活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込		
			国立病院機構で実施した開発途上国の医療技術者に対する研修の受入実績数		活動実績	件	42	120	90	－	－			
					当初見込み	件	42	120	120	120	－			
単位当たりコスト			算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
			単位当たりコスト＝X／Y		単位当たりコスト	百万円	31	30	36	31				
			X:「当該年度の臨床研究事業に対する運営費交付金の額」 Y:「当該年度の研究課題実績数」		計算式	X/Y	3,074/100	3,074/101	3,051/85	2,778/90				
単位当たりコスト			算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
			単位当たりコスト＝X／Y		単位当たりコスト	千円	194	194	201	208				
			X:「当該年度の教育研修事業(国際医療協力)に対する運営費交付金の額」 Y:「当該年度の開発途上国医療従事者に対する研修受入実績」		計算式	X/Y	8,163/42	23,332/120	18,075/90	24,908/120				
政策評価、経済・財政再生アクション・プラン	政策評価	政策	国が医療政策として担うべき医療(政策医療)を推進すること											
			施策	政策医療を向上・均てん化させること										
		測定指標		定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度	
			治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む)		実績値	件	592	666	716	－		－		
					目標値	件	495以上	592以上	666以上	－		前年度以上		
			定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度		
			発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的科学雑誌に掲載された科学論文)		実績値	件	2,175	2,359	2,417	－		－		
					目標値	件	1,941以上	2,175以上	2,359以上	－		前年度以上		
			定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度		
			研修会受入人数		実績値	人	309,318	331,646	341,595	－		－		
					目標値	人	289,623以上	309,318以上	331,646以上	－		前年度以上		
			定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度		
ホームページアクセス件数		実績値	件	5,650,070	3,595,119	4,258,467	－		－					
		目標値	件	4,447,567以上	5,650,070以上	3,595,119以上	－		前年度以上					

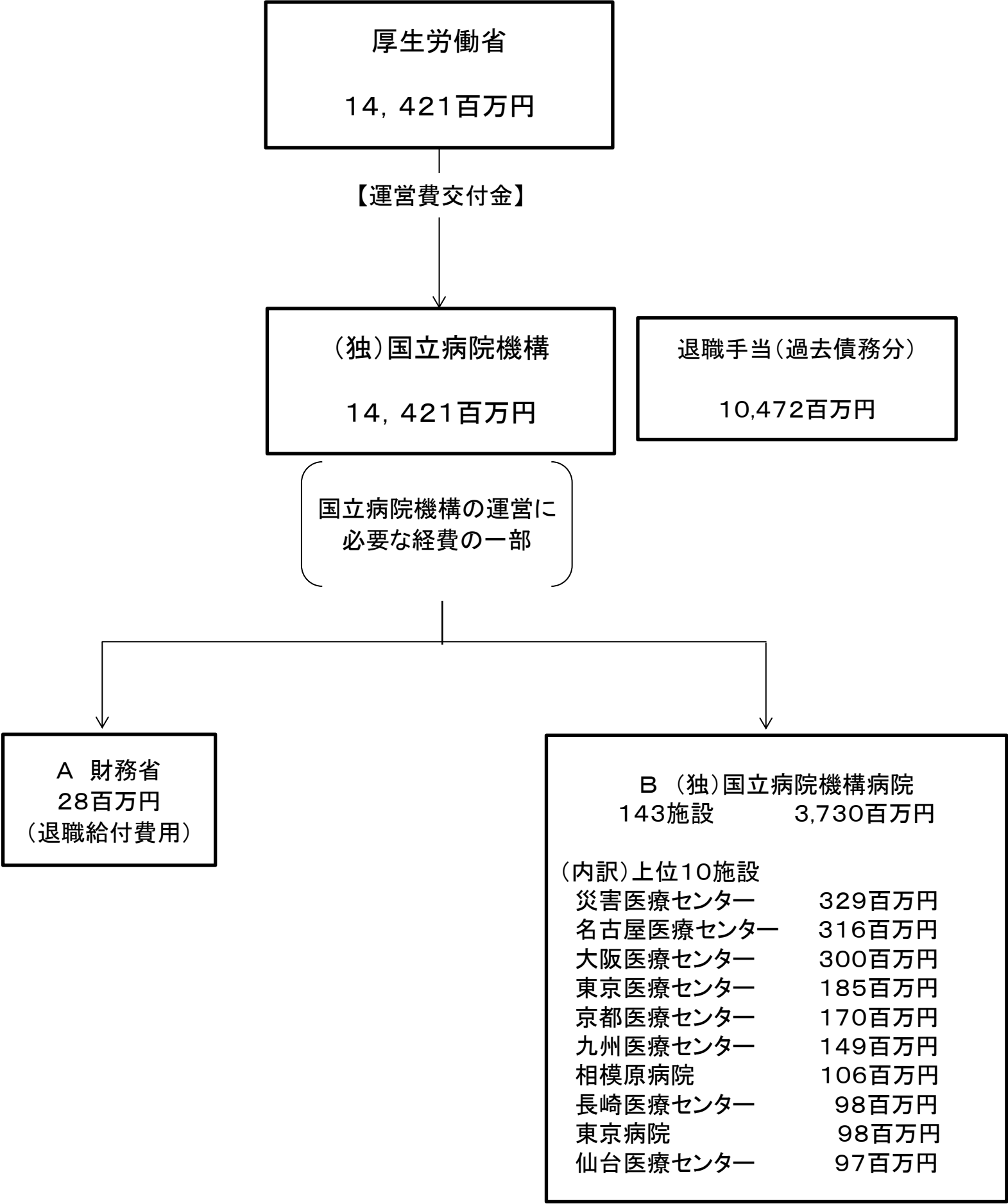
プログラムとの関係	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	独立行政法人国立病院機構は、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。その事業運営に必要な経費を交付することにより、同機構の業務の円滑な実施及び推進を図る。 独立行政法人国立病院機構運営費を交付することにより、同機構が行う医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。												
	経済・財政再生プログラム	改革項目	分野：	-	-								
		KPI (第一階層)	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
							成果実績	-	-	-	-	-	-
							目標値	-	-	-	-	-	-
							達成度	%	-	-	-	-	-
		KPI (第二階層)	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
							成果実績	-	-	-	-	-	-
							目標値	-	-	-	-	-	-
達成度							%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													

事業所管部局による点検・改善				
国費投入の必要性	項 目		評 価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	独立行政法人国立病院機構法第3条の目的を遂行するために必要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措置している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める目的の達成手段として、必要かつ適切であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	原則として、一般競争入札を利用するなど、競争性を確保しながら支出先を選定しているが、やむをえず一者応札・応募になった契約については、外部有識者による契約監視委員会に係る通知を各病院へ発出し、応札条件、仕様内容及び公告期間の見直し等を行い、競争への参加者が複数となるよう改善に取り組んでいる。 また、やむをえず競争性のない随意契約となった契約についても、調達等合理化計画を着実に実施し、真にやむを得ないものを除き、競争性のある契約方式への移行を進めている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一定の成果を上げており、妥当と考える。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	契約の適正化に取り組んでおり、競争性・透明性は確保されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	医薬品や医療機器等の共同入札の実施などコスト削減に取り組んでいる。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	中期計画、年度計画に従い着実に実施している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	中期計画、年度計画に従い着実に実施している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	独立行政法人国立病院機構法第3条の目的に沿って活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-			
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	成果実績や活動実績で一定の成果を上げており、また、事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では特段問題はない。					
	改善の方向性	現段階では特段問題がないことから、今後も成果実績や活動実績も踏まえながら、引き続き適切な運用に努めていく。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
事業仕分け（平成22年） 〈事業番号/項目名〉 B-5-(1) 診療事業 〈結果〉 当該法人が実施し、事業規模は縮減 病院のガバナンスについては抜本的見直し 本部経費縮減、ブロック事務所は廃止を含めて検討 他の公的病院との再編等についても広く検討 再仕分け（平成22年） A-11（独）国立病院機構運営費交付金 〈結果〉 判定不能 ガバナンスの見直し 設備投資計画の第三者によるチェック							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	119	平成23年度	99	平成24年度	76		
平成25年度	76	平成26年度	82	平成27年度	88		
平成28年度	85						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.財務省			B.災害医療センター		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	退職給付費用	退職給付費用の支払	28	委託費	病院設備維持管理等業務委託	136
				医療用機械備品	初動医療班用医療機器購入	99
				給与費	災害医療従事者研修等に要する人件費	43
				医薬品費	災害用備蓄医薬品	35
				給食用材料費	災害用備蓄食料	9
				機器賃借料	災害用機器賃借料	7
	計		28	計		329

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	財務省	8000012050001	退職給付費用の支払	32	その他	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 和心	4011101047545	委託費(病院設備維持管理)	136	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
2	アイティーシー株式会社	9010001009436	医療用機械備品	68	一般競争契約 (最低価格)	2	-	
3	株式会社ホクシンメディカル	4140001010823	医療用機械備品	25	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
4	株式会社メディセオ	5010001087238	医薬品費	11	一般競争契約 (最低価格)	5	-	
5	東邦薬品株式会社	5010901023507	医薬品費	10	一般競争契約 (最低価格)	5	-	
6	酒井薬品株式会社	8012401012482	医薬品費	9	一般競争契約 (最低価格)	5	-	
7	ジャパンエレベーターサービス城西株式会社	9011101072159	委託費(保守)	7	一般競争契約 (最低価格)	3	-	
8	株式会社増田禎司商店	3010101003682	給食用材料費	5	一般競争契約 (最低価格)	8	-	
9	三和システムサービス株式会社	7030001003760	機器賃借料	3	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
10	協同食品サービス株式会社	9012701001283	給食用材料費	2	一般競争契約 (最低価格)	8	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-